

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業	
事業名	月猫絵本音楽会2012			
目的・内容	<p>[趣旨・目的] 親と子が文化芸術に親しむことができる鑑賞機会の提供を目的に実施。親子で楽しめる公演が少ない本県において、本物の演奏と絵本の読み聞かせや楽しいパフォーマンスで見どころ満載のセッション・ライブを親子で鑑賞することで、将来の鳥取県の音楽愛好者や実践者の拡大を図る。</p> <p>[内容] 満月の夜に行われる猫たちの特別な集まり「月猫えほん音楽会」。ジャズ・ピアノといっしょに絵本を月のスクリーンに写しながらの読み聞かせセッション・ライブ。絵本、人の声、ピアノ、さらにパントマイムを用いて、子どもたちと大人にライブ感を届ける親子向け公演。[出演者：ジャズ猫（ピアノ）＝佐山雅弘、白猫（進行）＝保亜美、マイム猫（パントマイム）＝本多愛也、読み猫（朗読）＝能祖将夫] (プレ事業／創造への扉「絵本で遊ぼう親子ワークショップ」6／17 米子市児童文化センター)</p>			
開催日時	平成24年8月12日(日)			
会場	米子市文化ホール メインホール			
入場料 (友の会・団体)	おとな 2,500円 (2,000円)	高校生以下 1,000円 (900円)		
集客状況	入場者数 354人	設定席数 654席	集客率 54%	
事業費状況	予算額	収入 1,080,000円	支出 4,000,000円	収支比率 27%
	決算額	収入 751,000円	支出 3,862,115円	収支比率 19%
来場者アンケート (主なもの) 回答者数 114名 (ほか子ども用 アンケート104名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったです。月のスクリーンに映し出される絵本の絵が美しかったです。ライブ感たっぷりの会でした。</li> <li>・会場に入るまでの間にもドキドキ感、ワクワク感を盛り上げる内容で、子どもも自然にねこ語を話して開演前から楽しむことが出来ました。</li> <li>・期待以上の楽しさでした。絵本大好きです。子供はもちろん、母の私も大いに笑わせていただきました。ありがとうございました！！</li> <li>・メイクで猫の気分になりました！！パントマイムネコが面白かった！！またみたいです☆（8歳女の子）</li> </ul>			
1次評価 (内部)	<p>[成果] ・鳥取県にとどまらず、鳥根県東部地区への積極的な工法が実践できた。</p> <p>・本公演、プレ事業、鑑賞者は非常に高い満足度を得られたことに加え、チケットを葉として記念に残す担当者の工夫は来場者の記憶を長く維持させるための新しい方法として評価できる。</p> <p>[課題等] ・団体とりまとめの依頼、鳥取県西部及び鳥根県東部地区への広報をできるかぎに行うことはできたが、十分な成果は得られなかった。</p> <p>・本公演のような公演イメージの伝わりにくい公演については、公演内容の詳細の分かる記事やアンケートの声などを掲載したシートなどによる広報をさらに工夫することが課題である。</p> <p>・企画選定時点での開催時期の十分な精査が必要である。</p>			
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果] <b>(公演の内容)</b> ・本物の文化芸術に親子で触れる機会の提供という目的は達成できている。</p> <p><b>(運営等)</b> ・主催者(財団)の運営について、随所にさまざまな工夫と細かい配慮が見られたことは評価できる。</p> <p>[課題等] <b>(共催者等との連携)</b> ・共催者との連携の在り方の検討が必要。特に共催先は日常子どもたちが多く集まる施設を持っており、そこでの広報の方法に工夫が必要であった。</p> <p>・取りまとめ依頼団体に多く呼びかけたことはよかったが、逆に頼りすぎがあったのではないか。</p> <p><b>(広報・マーケティング)</b> ・チラシの配布先、FaceBookの活用など、宣伝方法の見直しが必要である。</p> <p><b>(集客率に対する検証)</b> ・広報PRIに関してはしっかり取り組んでいたが、なぜ十分な集客が得られなかったかの分析が必要である。</p>			
今後の対応、 取組状況	<p><b>(共催者との連携)</b> ・主催者、共催者の役割分担、連携方針など、共催のありかたを整理したうえで共催を締結する。双方の強みを生かした連携がとれるよう、共催前の十分な話し合いを行う。</p> <p><b>(広報・マーケティング)</b> ・いわゆる紙媒体であるポスター、チラシ以外のメディア（Web上のFaceBookやTwitterなど）の活用の検討を行う。</p> <p><b>(事業の継続性)</b> ・本公演のジャンルに限らず、財団全体の事業について、継続的に実施していくべき事業、単発でも実施していきたい事業を中長期的観点から整理していく。公平性と幅広いジャンルの提供、予算減による事業数の縮減が課題である。</p>			